The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	多文化共生社会に求められる日本語
Author(s)	宮原, 曉
Citation	GLOCOLブックレット. 2011, 6, p. 7-41
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/48366
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

I

多文化共生社会に求められる日本語

多文化共生社会に求められる日本語

宮原 曉 大阪大学グローバルコラボレーションセンター

はじめに

日本社会において多文化共生ということばが使われるようになって久しい。しかし、大方の人にとって多文化共生が身近なものとなったかと言えば必ずしもそうではない。とりわけ住民の日常生活に関わる部分で、多文化共生は依然としてごく限られた専門家の手に委ねられているのが現状である。Ⅰでは、小学校、中学校といった義務教育の現場に焦点をあて、日本における多文化共生の現状をふりかえるとともに、多文化社会におけるコミュニケーションのあり方として、「もう一つの日本語」の可能性について検討する。

1. 日本における多文化共生

今日、日本社会は様々な文化的背景（この用語も曖昧であるが）や言語的背景を持つ人々から構成されている。こうした人たちの中には、外国籍を持ち、「外国人」（あるいは個々の民族）であると自他ともに認めている人、日本国籍を取得し、「外国人」として自認していないが、他人からは「外国人」（あるいは同じ国民や民族）と見られている人、「外国人」と自認してはいるものの、他人からはそう思われていない人など様々な人が含まれる。本章では、さしあたり自他のいずれかが「外国人」と認めている人を「外国人」と呼ぶこととし、日本国籍の有無が問題となるときには、「外国籍の住民」といった用語を用いることにする。また、そもそもの問題として彼ら彼女らを「外国人」として十把一絡げにし得るのかという問題もでてくるが、日本社会においては、「外国人」として括ることで見えてくるものと、中国系住民、インド系住民など個々の呼名を用いることで見えてくるものは別ものであり、ここでは、出身地や祖籍地の違いはあげつらわず、「外国人」として「日本人」に対置するアプローチをとる。

とは言え、上に掲げた意味での外国人の数を正確に把握することはできない。私たちが知り得ることは、外国籍を持つ人の数、国籍取得申請数のみである。したがって、以下の記述では、外国籍の住民の数値をもとに趨勢を推し量るしかない。

2009年度、日本における外国人登録者数は194カ国、218万6,121人にのぼる[1]。彼（女）らの在留目的は多岐にわたっている。外国人登録者統計では、永住者、日本人の配偶者のほかに、教授、芸術、興行、文化活動など29項目の在留目的が区分されている（末尾の附表1参照）。

外国人登録者の出身国が広い範囲にわたっていること、また在留目的が多様であることは、日本もまた国際的な労働力移動の奔流のただなかにあることを意味していよう。2009年度、日本に入国した外国人の数は611万9,394人（うち短期滞在者は582万2,719人）であった[2]。

一方、日本に定住する外国人、あるいは外国出身者の数も全体的にみれば増えている。外国人登録者のうち、身分または地位に基づいて入国する外国人（永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者）と家族滞在、特別永住者は、110万4,837人であり、登録者数全体の半数を占めている。また表1に示したように、

注
1　法務省入国管理局外国人登録者数統計による（http://www.immi-moj.go.jp/toukei/index.html、2010年12月4日参照）。外国人登録者数の数には無国籍者1,397名も含まれる。またなぜか台湾は中国（台湾）として194カ国のなかには入っておらず、北朝鮮と韓国も区別されていない。
2　法務省入国管理局「平成22年版『出入国管理―新時代における出入国管理行政の対応』」［PDF版］（http://www.moj.go.jp/content/000058058.pdf 2010年12月5日参照）p.4.

表1：帰化許可申請者数等の推移（法務省民事局）

	帰化許可申請者数	帰化許可者数				不許可者数
		合計	韓国・朝鮮	中国	その他	
平成12年	14,936	15,812	9,842	5,245	725	215
平成13年	13,442	15,291	10,295	4,377	619	130
平成14年	13,344	14,339	9,188	4,442	709	107
平成15年	15,666	17,633	11,778	4,722	1,133	150
平成16年	16,790	16,336	11,031	4,122	1,183	148
平成17年	14,666	15,251	9,689	4,427	1,135	166
平成18年	15,340	14,108	8,531	4,347	1,230	255
平成19年	16,107	14,680	8,546	4,740	1,394	260
平成20年	15,440	13,218	7,412	4,322	1,484	269
平成21年	14,878	14,785	7,637	5,392	1,756	201
※いずれも暦年の人数である。		151,453				

http://www.moj.go.jp/MINJI/toukei_t_minj03.html　2010年12月5日参照

表2：在留の資格別外国人登録者数の推移

	家族滞在	特定活動	永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	特別永住者
2005年	86,055	87,324	349,804	259,656	11,066	265,639	451,909
2006年	91,344	97,476	394,477	260,955	12,897	268,836	443,044
2007年	98,167	104,488	439,757	256,980	15,365	268,604	430,229
2008年	107,641	121,863	492,056	245,497	17,839	258,498	420,305
2009年	115,081	130,636	533,472	221,923	19,570	221,771	409,565

法務省入国管理局「平成22年版『出入国管理－新時代における出入国管理行政の対応』」[PDF版]（www.moj.go.jp/content/000058058.pdf　2010年12月5日参照）p21

帰化申請者数もここ10年の累計が15万1,453人に達している。

しかしながら、表2に示したように長期滞在者数の年次推移をみると、5年前の2005年の数値と比べて、永住者の数こそ34万9,804人から53万3,472人へと50パーセント以上の顕著なのびを示すものの、日本人の配偶者等や定住者の数は減少している。この傾向は、新規入国者の場合、より顕著であり、2005年の段階では、定住者、あるいは日本人の配偶者等の資格で入国した外国人の数がそれぞれ3万3,756人と2万4,026人であったものが、2009年には9,946人、1万4,951人まで減少している[3]。長期にわたって日本に居住する外国人がより定住化傾向を強める反面、新たに日本を定住先として考える外国人は減っている。

「定住者」目的による新規入国者の減少が長引く景気の低迷を反映したものであることは言うまでもないが、定住者の減少にもかかわらず、永住者が増えていることは、国際的な人口移動に伴って外国籍を持つ定住人口が一定程度生み出されつつあることを示している。

本書を執筆している段階で直近の2005年の国勢調査によれば、0歳から14歳までの外国籍人口は、14万6,805人であった（附表2）。このうち、従来からの居住者が多い韓国朝鮮人、中国人、台湾人を除いた数は7万8,489人である。同様に、2000年段階での韓国朝鮮人、中国人、台湾人を除いた14歳以下の外国籍人口は、6万5,550人である[4]。比較的近年になって日本に移民した外国籍住民では、14歳以下の人口が増加している一方で、旧来の移民者の多い韓国朝鮮人、中国人、台湾人では、14歳以下の人口が減少しており、逆に65歳以上の人口が増加している[5]。初代の移民から世代を経ている移民たちのあいだでは、日本社会と同様に少子高齢化が進んでいることが窺える。

注
3　法務省入国管理局「平成22年版『出入国管理―新時代における出入国管理行政の対応』」[PDF版]（http://www.moj.go.jp/content/000058058.pdf　2010年12月5日参照）、p.5
4　平成12年国勢調査外国人に関する特別集計のデータに基づき算出（http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2000/gaikoku/00/03.htm 2010年1月4日参照）。
5　ただし中国人の場合は、高齢化はさほど顕著ではなく、主流が新規の移民であることを示唆している。

表3：外国人国籍・年齢別死亡者数（2006年）

性・年齢	総数	韓国・朝鮮	中国	フィリピン	タイ	米国	英国	ブラジル	ペルー	その他の外国
総数	5,969	4,588	492	114	36	121	19	184	35	380
0～4歳	43	1	7	5	1	5	1	15	4	4
5～9	5	–	1	2	–	1	–	1	–	–
10～14	8	2	4	–	–	–	–	1	1	–
15～19	13	4	2	–	–	–	–	7	–	–
20～24	78	20	21	7	–	1	–	11	–	18
25～29	94	29	20	6	2	1	2	18	1	15
30～34	103	37	17	8	4	8	–	10	2	17
35～39	126	50	14	15	6	6	1	14	4	16
40～44	204	95	21	24	10	2	4	15	2	31
45～49	189	117	16	15	7	5	1	15	1	12
50～54	282	198	21	9	3	6	–	25	5	15
55～59	456	366	28	6	1	3	3	22	8	19
60～64	485	396	30	3	–	4	2	17	3	30
65～69	507	433	32	5	1	6	1	5	1	23
70～74	594	511	34	4	–	14	1	3	1	26
75～79	679	568	53	4	1	15	1	2	–	35
80～84	903	761	71	1	–	17	2	3	2	46
85歳以上～	1,189	1,000	100	–	–	27	–	–	–	62
不詳	11	–	–	–	–	–	–	–	–	11
男	3,531	2,676	298	36	17	74	16	132	22	260
0～4歳	25	1	6	2	1	4	1	7	2	1
5～9	2	–	–	1	–	1	–	–	–	–
10～14	5	1	2	–	–	–	–	1	1	–
15～19	10	2	2	–	–	–	–	6	–	–
20～24	55	14	14	4	–	1	–	7	–	15
25～29	53	10	14	2	1	1	2	12	1	10
30～34	66	23	9	2	2	7	–	8	1	14
35～39	79	38	5	2	3	4	1	9	3	14
40～44	116	52	12	3	4	2	4	13	1	25
45～49	107	72	6	3	3	3	1	9	–	10
50～54	188	132	10	5	1	4	–	20	2	14
55～59	311	251	16	2	1	1	2	17	5	16
60～64	350	289	17	2	–	3	1	13	3	22
65～69	357	307	22	2	–	4	1	5	1	15
70～74	381	327	22	1	–	8	–	3	1	19
75～79	400	324	37	4	1	8	1	1	–	24
80～84	529	438	46	1	–	10	2	1	1	30
85歳以上～	486	395	58	–	–	13	–	–	–	20
不詳	11	–	–	–	–	–	–	–	–	11
女	2,438	1,912	194	78	19	47	3	52	13	120
0～4歳	18	–	1	3	–	1	–	8	2	3
5～9	3	–	1	1	–	–	–	1	–	–
10～14	3	1	2	–	–	–	–	–	–	–
15～19	3	2	–	–	–	–	–	1	–	–
20～24	23	6	7	3	–	–	–	4	–	3
25～29	41	19	6	4	1	–	–	6	–	5
30～34	37	14	8	6	2	1	–	2	1	3
35～39	47	12	9	13	3	2	–	5	1	2
40～44	88	43	9	21	6	–	–	2	1	6
45～49	82	45	10	12	4	2	–	6	1	2
50～54	94	66	11	4	2	2	–	5	3	1
55～59	145	115	12	4	–	2	1	5	3	3
60～64	135	107	13	1	–	1	1	4	–	8
65～69	150	126	10	3	1	2	–	–	–	8
70～74	213	184	12	3	–	6	1	–	–	7
75～79	279	244	16	–	–	7	–	1	–	11
80～84	374	323	25	–	–	7	–	2	1	16
85歳以上～	703	605	42	–	–	14	–	–	–	42
不詳	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

出典：厚生労働省「日本における人口動態―外国人を含む人口動態統計特殊報告」（3死亡　第4－2表 死亡数、日本における日本人-外国人・国籍・性・年齢（5歳階級）・年次別平成13～18年）（http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001055681　&requestSender=search　2010年12月5日）

同じような外国籍人口の定住化傾向を示唆するデータに、外国人登録者の年齢別死亡者数統計がある。表3が示すように、韓国人・朝鮮人、中国人、台湾人、アメリカ人で、高齢者の死亡が多くなっており、フィリピン人、ブラジル人にもその傾向が見られる。外国人登録者の世代構成が出身国や日本の人口ピラミッドに近づいてきているのである。

外国籍人口の定住化という点で興味深いのは、外国人犯罪の顕著な減少である。2008年の外国人犯罪の検挙件数、人員は3万1,252件（刑法犯2万3,202件、特別法犯8,050件）、1万3,885人（刑法犯7,148人、特別法犯6,737人）で、前年と比べて件数で4,530件（12.7パーセント）、人員で2,029人（12.7パーセント）減少している[6]。こうした減少傾向は2008年に限ったことではなく、検挙件数では2005年、検挙人員では2004年をそれぞれピークとして減少している。

刑法犯には、凶悪犯、窃盗犯、粗暴犯等が含まれるが、前年に比べ、粗暴犯の検挙件数が0.8パーセント増加しているが、それ以外はいずれも減少している。特に、来日外国人犯罪で高い割合を占める窃盗犯の減少が大きく、件数が前年に比べ、2,061件（9.7パーセント）減少、人員が81人（2.2パーセント）減少している[7]。

一方、特別法犯には、入管法、風適法、銃刀法、売防法等が含まれる。2008年の場合、売春防止法違反検挙件数が37.0パーセント増加しているが、それ以外はいずれも減少している。特に、入管法違反検挙件数が23.4パーセント、人員が23.8パーセントと著しく減少している。入管法違反は、2007年で7,335件（6,270人）、2008年で5,616件（4,775人）であり、外国人犯罪全体の約18パーセントを占める[8]。

入管法違反は、外国籍を持つ人が法に違反して日本国内に滞在することで生ずる違反、いわば場所に起因した違反である。この手の違反の著しい減少は、他のいくつかの指標とともに日本に居住する外国人に見られる定住化傾向を示唆している。もちろん、これらの現象は、単に外国人住民の滞在が長期化したというだけのことであって、日本社会での長い歴史を持つ在日韓国朝鮮人や在日台湾人がだいぶ前に到達した地点に、他の外国人も達したに過ぎないと言えなくもない。しかし、外国人の住民を「いずれは本国に帰る移民」としか見てこなかった日本社会が、ここへ来てようやくおぼろげながらも「日本に居住する住民」として外国人を見

注
6　警察庁刑事局組織犯罪対策部国際捜査管理官「在日外国人犯罪の検挙状況（平成20年）」（2009年4月）（http://www.npa.go.jp/sosikihanzai/kokusaisousa/kokusai6/rainichi.pdf　2010年12月6日参照）p.2.
7　同上、pp.3-4.
8　同上、p. 4.

るようになったことは、「定住」の意味を単に期間の問題から、日本社会との関わり方の問題へと根本から転換させた。外国人住民は、他の住民と同じように子どもを産み、育て、結婚し、仕事に就き、病気になり、老いていく。こうしたなか、Ⅰのテーマである外国人児童生徒に対する学校教育も、当然問い直されることとなる。つぎに外国人児童生徒がこれまで日本の公立小中学校のなかでどのような環境に置かれてきたか、簡単に振り返ってみよう。

2. 日本の小中学校で学ぶ外国人児童生徒を取りまく現状

外国人児童生徒と一口にいっても、そのバックグラウンドは様々である。外国籍を持っている人、日本国籍を取得した人、日本で生まれた人、そうでない人、日本語を話せない人、父親もしくは母親の母語を話せない人、日本語とともに両親のいずれかの母語にも親しんでいる人、小学校入学から日本の教育制度のなかにいる人、出身地において初等教育、中等教育のある段階まで学習した後、日本にやってきて小学校中学校高等学校に転入した人。このうち、文部科学省が外国人教育の主な対象としてきたのは、「日本語指導が必要な外国人児童生徒」と呼ばれる子どもたちであった。ここではまず「日本語指導が必要な外国人児童生徒」に対する教育の現状を紹介した後、日本語指導以外の分野も含めて、外国人教育が抱える問題点について指摘したいと思う。

文部科学省の「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」（平成20年度）によれば、学校教育法第1条に示されている学校のうち国公私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒の数は、2万8,575人であった[9]。同調査による平成16年度の「日本語指導が必要な外国人児童生徒数」が1万9,678人であったことから、4年間で約45パーセントの伸びを示したことになる[10]。また、これとは別に日本語指導が必要な日本国籍を有する児童生徒数が10年前には500人足らずであったのが、4,895人に増加している[11]。文部科学省の「学校基本調査」によれば、平成20年度および16年度における外国人在籍者数（日本語指導を必要としない児童生徒を含む）は、それぞれ7万5,043人と7万345人であった[12]。

注
9　文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」（平成20年度）http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/07/1279262.htm 2010年12月6日参照）。
10　文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」（平成16年度）（http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/04/05042001.htm 2010年12月6日参照）。
11　文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」（平成20年度）。
12　文部科学省「学校基本調査（指定統計第13号）」（平成21年度確定値）（http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/08121201/index.htm　2010年12月6日参照）によれば、平成21年度（5月1日現在）の外国人児童生徒数は8万1,603人である。なお2009年5月現在、国公私立学校の在籍者数は、小学校706万3,606人、中学校360万323人、高等学校（全日制・定時制）334万7,311人、中等教育学校2万544人（前期課程1万2,424人、後期課程8,120人）、特別支援学校11万7,035人（幼1,640人、小3万5,256人、中2万7,046人、高5万3,093人）の計1,414万8,819人である。

表4：母語別児童生徒数（2008年度）

（児童・生徒数：人）

	小学校		中学校		高等学校		中等教育学校		特別支援学校		合計	
		構成比（%）		構成比（%）		構成比（%）		構成比（%）		構成比（%）		構成比（%）
ポルトガル語	(8,142) 8,816	(44.9) 45.2	(1,889) 2,360	(31.6) 31.2	(128) 158	(10.8) 11.6	(1) 1	(4) 3.1	(46) 51	(54.8) 52	(10,206) 11,386	(40.2) 39.8
中国語	(2,652) 2,757	(14.6) 14.1	(1,801) 2,407	(30.1) 31.8	(581) 640	(49.2) 46.9	(10) 12	(40) 37.5	(7) 15	(8.3) 15.3	(5,051) 5,831	(19.9) 20.4
スペイン語	(2,583) 2,640	(14.2) 13.5	(734) 825	(12.3) 10.9	(149) 153	(12.6) 11.2	(2) 1	(8) 3.1	(16) 15	(19) 15.3	(3,484) 3,634	(13.7) 12.7
フィリピノ語 （タガログ語）	(1,954) 2,199	(10.8) 11.3	(788) 947	(13.2) 12.5	(146) 211	(12.4) 15.5	(4) 7	(16) 21.9	(4) 3	(4.8) 3.1	(2,896) 3,367	(11.4) 11.8
韓国・朝鮮語	(575) 566	(3.2) 2.9	(252) 293	(4.2) 3.9	(51) 56	(4.3) 4.1	(2) 6	(8) 18.8	(4) 6	(4.8) 6.1	(884) 927	(3.5) 3.2
ベトナム語	(649) 650	(3.6) 3.3	(144) 240	(2.4) 3.2	(39) 39	(3.3) 2.9	(0) 0	(0) 0	(2) 3	(2.4) 3.1	(834) 932	(3.3) 3.3
英語	(465) 475	(2.6) 2.4	(78) 105	(1.3) 1.4	(15) 11	(1.3) 0.8	(2) 0	(8) 0	(0) 0	(0) 0	(560) 591	(2.2) 2.1
その他	(1,122) 1,401	(6.2) 7.2	(292) 399	(4.9) 5.3	(73) 97	(6.2) 7.1	(4) 5	(16) 15.6	(5) 5	(6) 5.1	(1,496) 1,907	(5.9) 6.7
合計	(18,142) 19,504	(100) 100	(5,978) 7,576	(100) 100	(1,182) 1,365	(100) 100	(25) 32	(100) 100	(84) 98	(100) 100	(25,411) 28,575	(100) 100

出典：文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入状況等に関する調査」（平成20年度）（http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001056033　2010年12月6日参照）。なお（）内の数値は19年度。

平成20年度における日本語指導が必要な外国人児童生徒の母語別内訳は、表4の通りである。文部科学省は、平成2年に「出入国管理及び難民認定法」が改正され，滞日外国人数が増加したことを受けて、平成3（1991）年から平成20年まで毎年、日本語指導を必要とする外国人児童生徒数を公表してきた[13]。統計を取り始めた当初の平成3年の外国人児童生徒数は5,463名であった。

文部科学省が外国人児童生徒に対する教育を推進する背景には、「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」（昭和54年条約第6号）第13条の1及び2(a) 2(b) がある[14]。「外国人児童生徒は、我が国の義務教育への就学義務は課せられていないが、この規約の締結国は教育についてのすべての者の権利を認める」というのである。

外国人児童生徒に対する教育のもう一つの契機となったのは、1990年の国際識字年であった[15]。国際識字年は、「2000年までに全ての人に教育をEducation for all（EFA）」をスローガンとし、基礎教育の普及と充実に向けて国際社会が一丸となることを目標とした。

注
13　文部科学省による「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」は、平成20年度までは毎年行われていたが、平成20年以降は隔年調査となった。
14　文部科学省大臣官房国際課（編）2005『国際交流パンフレット』文部科学省
15　外国人児童生徒に対する学習支援と国際識字年との関連性については，箕面高校山村安男前校長より御教示いただいた。

外国人児童生徒に対する教育については、文部科学省に加えて法務省の後押しもあった。法務省は平成6（1994）年の国連総会において、平成7年（1995年）から平成16年（2004年）までの10年間を「人権教育のための国連10年」とする決議が採択されたことを受けて、平成12（2000）年に「人権教育・啓発に関する基本計画」を策定している[16]。

こうした潮流を背景に文部科学省（文部省）は、帰国子女教育、国際理解教育を発展させるかたちで、平成4（1992）年から、「外国人児童生徒・帰国児童生徒」の日本語指導等に対応した教員定数の特例加算を行い、平成5年度からは、日本語指導のための指導者養成研修や外国人児童生徒の受入れに関する研修を実施するようになった。

外国人児童生徒へ向けた教育の力点が当初から日本語指導に置かれたことは、当時の文部省が外国人児童生徒を「日本語指導を必要とする者」としていることからしても自然のなりゆきであった。日本語を習得することが、その後の教科学習の前提となると考えられたのである。この前提に基づき、平成15年には、「外国人児童生徒等の速やかな日本語の習得を促すとともに、効率的かつ効果的な日本語指導の取組を支援する目的で、日本語の初期指導から教科学習につながる段階の学校教育におけるJSLカリキュラムの開発事業の実施（小学校編（最終報告）：平成15年7月）」が作成された[17]。

しかし、外国人児童生徒を対象とした日本語指導は、やがて大きなジレンマに直面することとなる。個人差はあるものの、日本語指導が実際に効果をあげ、教科学習に支障がないレベルに達するには相当な期間がかかる。このため、その間も進んで行く教科の学習から遅れないように、多くの教育現場では日本語指導とは別に、各教科の授業に外国人児童生徒の母語を話すことのできるサポーターを配置し、通訳等の業務につかせてきた。こうした母語による教科学習の補助と日本語学習は、相互に矛盾する。日本語学習に時間を割けば、教科学習は遅れる。教科学習に力点をおけば、日本語の学習意欲が損なわれる。実際に、教室からとび出しての日本語学習に苦痛を訴える児童生徒は少なくない。

それでは、日本語指導から教科指導へとシフトさせればよいのかというと必ずしもそうとばかりも言えない。外国人児童生徒の

注
16　法務省「人権教育・啓発に関する基本計画」（http://www.moj.go.jp/JINKEN/JINKEN83/jinken83.html　2010年12月6日参照）。
17　文部科学省「帰国・外国人児童生徒等に関する施策概要」（http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001.htm　2010年12月6日参照）。

母語による教科学習の支援にはいくつかの問題が含まれる。成人後、生活基盤を日本に求める以上、日本語ができないことがネガティブな要因の一つとなるという否定しがたい事実もあるが、そもそも教科学習支援の方法論の問題もある。

教科学習支援のサポーターは、授業中、教師が話したことを通訳するだけではなく、多くの場合、児童生徒が理解しやすいように学習項目を改めて説明することが求められる。こうした説明は、教育に対する前提や問題解決の様式が異なっている場合、大きな困難を伴う。問題に対する答えを常に単一と想定する教育と、複数の答えがあり得ると想定する教育では、同じ課題に対しても、思考のプロセスは全く異なる。東アジア諸国の間では、比較的初等教育の目的や方法に関して共通性があるものの、欧米と日本、東南アジアと日本との間には、大きな違いがある[18]。今、歴史教育はおくとして、この違いは乗法の記憶から絵の描き方まで幅広い。授業の通訳は、教授内容を考えずに済むという意味で一見補助的なものに見えるが、限られた時間数では、児童生徒の母語で授業を運営するよりもずっと難しいのである。

このような教科教育の方法論に関して、日本の学校なのだから、日本の教育目的と方法に従うべきだと簡単に言えないところに問題の根深さがある。戦後60年の間に、日本の教育は様々に変化し、そのなかには必ずしも成功したとは言えないものも含まれているからというのが第1の理由であり、現在がまさにそうした教育の将来を展望する上で岐路にあるからというのが第2の理由である。

方法論の問題以外にも、授業のなかで学習サポーターが外国人児童生徒にアテンドすることは、サポーターへの強い依存を生み出しやすいという点も指摘しておかなければならない。学習サポーターの存在は、児童生徒の心理状態を安定させる意味を持つものの、教師の日本語を聞こうとする児童生徒の意欲という面ではマイナスである[19]。

日本語指導と教科指導をどう関係づけるかは非常に悩ましい問題である。来日した外国人児童生徒の多くは、到達度を把握されないまま、日本の小中学校に通い始める。このため、児童生徒が直面する問題が日本語の理解不足に起因するのか、それとも純粋に学力の問題なのか判別不能になってしまうのである。

こうした対応のまずさは、児童生徒たちに様々な不利益をもたらす。とりわけ進路の問題は深刻である。小中学校、さらに高等学校もそうであるが、教育現場に立つ教師たちは、子どもたちの能力を最大限に引き伸ばすこと、その子どもにあった進路を見つけ、提供することを目標としている。この点は、外国人児童生徒に対しても全く変わらない。しかし、この結果、学校での教育が進学進路指導主体の教育になっているのも（あるいはならざるを得ないのも）、事実である。外国人児童生徒に対する進学進路指導は、長期的な展望を持ち得ぬまま、目の前の進路選択に対応せざるを得ないのである。

にもかかわらず、外国人児童生徒が生きていくのに、学歴は高ければ高いほどよい。様々な偏見により、依然として外国人の就職が日本人に比べて不利ななか、よる術は学歴と資格だけである。そこに外国人児童生徒を指導する先生方の苦悩もあるのだ。

注
18　東アジア諸国と欧米との教育文化の違いに関しては、Liu, In-mao “Chinese Cognition.” *In* Bond, Michael Harris (ed.). *The Psycology of the Chinese People*. Oxford, UK: Oxford University Press. 参照。
19　教師が練習問題を提示するような場合、外国人児童生徒が学習サポーターに教師が提示した問題から解答までの一連のプロセスの説明を、自ら問題を解く努力をしないまま、求めることがある。

3.「もう一つの日本語」の可能性

こうしてみると、今日、外国人児童生徒に向けた学習サポートは、重大な岐路に立っていると言える。とりわけ学習サポーターに過剰な負担がかかるなか、学習サポートの担い手をどのように拡大するかは深刻な問題である。「もう一つの日本語」を用いた学習サポートは、こうした問題の解決策の一つとなる可能性を持つ。

今日、外国人児童生徒をめぐる教科学習の補助（主に通訳）、生活指導、悩み事の相談、家庭との連絡などの様々な業務は、学習サポーターによって担われている。自治体にもよるが、彼女、彼らの多くは、正規の教員ではなく、外国人児童生徒の教育指導に責任を持ちたくても持てない立場にあり、雇用そのものも不安定である。旧大阪外国語大学は、自治体からの要請に基づき、外国人児童生徒の出身国への留学経験を持ち、かつ教員志望の大学院生をこうした学習サポーターの業務に振り向けてきた。しかし、いくら大学院生たちが学習支援に心血を注いでも、自治体の限られた予算のなかで、彼女たちが常勤の職員として安定的に学習支援に携わることはかなわない。かといっていったん教員採用試験に合格し、教職についてしまうと、当初の情熱にもかかわらず、日常的な業務に追われて外国人児童生徒へのサポートまで手が回らないというのが現状だ。

こうした現状を改善するためには、外国人児童生徒の学習指

導を行うエキスパートを学校教育のなかにきちんと位置づける仕組みがまずもって必要である。学習支援のエキスパートは、ひとつの学校に張りついて、限られた児童生徒の指導を行うのではなく、いくつもの学校に点在する出身地を異にする児童生徒の学習支援プランを立案し、実際の学習支援をコーディネートする。そうすることで、外国人児童生徒への学習支援のスキームを大局的な観点から構想することが可能となるのである。

一方、教育現場では、限られた専門家の手に外国人児童生徒の支援を委ねるのではなく、様々な立場にある多くの人々が関われるようにすべきであろう。当初、学習支援は、日本語習得を主体に行われてきた。しかし、日本語習得が教科の理解に結びついていない場合、あるいは要求された教科学習の到達目標に間に合わない場合、学習者の母語による教科学習支援が導入される。これまでのこうした学習支援は、きわめて専門性の高い通訳の手に委ねられてきたが、逆に言えば通訳を確保できないとき、子どもたちは放置されてしまいがちだったとも言える。この問題の根底に、日本語学習と母語による教科学習の矛盾があるとすれば、解決策は二つである。すなわち、教科学習の面で、学校の授業でつかう日本語を外国人児童生徒が習得しやすいものに変えることと、日本語習得の面で、学校の授業でつかう日本語を短期間の間に教える、ということになろう。ここに「もう一つの日本語」としての「やさしい日本語」の可能性が出てくるのである。

「やさしい日本語」は、何よりも外国人児童生徒にとって習得しやすく、理解しやすいものでなければならないが、加えて次の二つの要素を兼ね備えていなければならない。外国人児童生徒が「やさしい日本語」を手がかり、足がかりとして自らの言語的世界を拡大できるものであること、そして、日本語を母語とする者にとっても、単に違和感がないというだけではなく、新たな文化や価値観の形成につながっていくものであることの二つである。外国人児童生徒が陥りやすい言語取得状況に、セミ・リンガル、もしくはダブル・リミテッド・バイリンガルと呼ばれるものがある。移動のタイミングによっては、母語習得の過程で言語環境に大きな変化が起こるため、移動先の言語のみならず、母語を話す際にも、話者が表現上のもどかしさを感じることがある。こうした状況は、あまり注意が払われることがないとは言え、それこそグローバル化の影響から家庭環境の影響まで様々なものを要因として、日本語を母語とする人たちにも起こり得る。詳細なメカニズムをいまここで論じている余裕はないが、現代人は、知らず知らずのうちに自らの言語から疎外されている。「もう一つの日本語」は、自らの言語を問うという意味で、失われた言語を自らの手に再び取り戻すプロセスでもある。

「もう一つの日本語」としての「やさしい日本語」が具体的にどのようなものかはⅡで詳らかにすることとして、この問題をピジン語とクレオール語の問題に結びつけてこのセクションをしめくくりたい。

今福によれば、ピジン語とは「共有する言語を持たない複数の集団が交易等の目的で継続的に接触を繰り返す際に、相互のコミュニケーションの必要性から編み出される一種の簡略化された言語」とされる[20]。日本に限らず、近代以降の国民国家では、複数の集団間にこのような対等関係が成立することは稀であり、国民と外国人、ホストとゲストといった力関係が生ずる。「やさしい日本語」は、「相互のコミュニケーションの必要性から編み出される一種の簡略化された言語」としてコミュニケーションの裾野と幅を広げ、これまでの力関係を共生関係に変えていくプロジェクトである。

とは言え、「やさしい日本語」は、いつまでも簡略化された言語という地点にとどまっている訳ではない。先に述べたように、現代を生きる私たちが言語から疎外されているのだとすれば、「もう一つの日本語」は言語を取り戻すためのプロジェクトでもなければならない[21]。再び今福によれば、ピジン語の後には、「ピジン語がネイティブ・スピーカーを獲得し、ピジン語を母語として受容することによって、これをより厳密な表現の道具へと組織化してゆく過程」、「クレオール化の過程」が想定される[22]。表現手段を持っている人の言論だけが偏重される傾向は、言論の自由が保障されている社会で往々にして陥りがちな落とし穴の一つである。しかし、人は弱い立場にあればあるほど、相手に通じるコトバを失う。多少自戒を込めて言えば、相手が言いよどんだとき、言うべきコトバを失っているように見えるときこそが、真実が語られるときなのである。「やさしい日本語」は、これまで表現手段を持っていなかった人にとって、新たな表現の道具となる。もちろん、話はそれほど単純ではなく、新たな表現手段は、新たな権力を生み出すだけなのかもしれない。「もう一つの日本語」としての「や

注
20　今福龍太『増補版クレオール主義』筑摩書房、2003（1991）p. 211。
21　本章でいう「言語を取り戻すこと」とは、単純に母語を取り戻すことではない。
22　今福龍太『増補版クレオール主義』筑摩書房、2003（1991）p. 211。

さしい日本語」をある種の体系としてデザインするならば、同じ轍を踏むことになるだろう。「やさしい日本語」は、確立された体系として膠着することなく、常にかたちをかえながら、新たに表現手段を求める人にその手段を提供しなければならないのだ。

今日の多文化共生には、それがめざす方向性とはほど遠いところに私たちを運んでいっているとの感覚がつきまとう。一つには、それが言語の分断にあまり頓着せず、一部の専門家の手に委ねられてしまっていることによる。共通言語としての日本語というと、それだけで外国人の同化を意図するものと勘ぐられそうだが、もちろん、そうではない。Ⅱでは、これまで主流社会の表現手段から遠ざけられていた人たちが表現の手段を獲得し、コミュニケーションの幅を広げるための方法を具体的に検討してみよう。

附表１

国籍（出身地）別・在留資格（在留目的）別
外国人登録者（2009年）

附表２

年齢別外国人人口（2005年）

附表1：国籍（出身地）別　在留資格（在留目的）別　外国人登録者（2009年）

1/8

国籍（出身地）	総数	教授	芸術	宗教	報道	投資・経営	法律・会計業務	医療	研究	教育	技術	人文知識・国際業務	企業内転勤	興行	技能	文化活動
総数	**2,186,121**	**8,295**	**490**	**4,448**	**271**	**9,840**	**161**	**220**	**2,372**	**10,129**	**50,493**	**69,395**	**16,786**	**10,966**	**29,030**	**2,780**
アジア	**1,688,865**	**4,841**	**179**	**1,840**	**91**	**6,993**	**17**	**212**	**1,702**	**450**	**46,757**	**50,333**	**12,565**	**9,117**	**28,074**	**1,717**
アフガニスタン	1,021	1	–	–	–	105	–	–	–	–	–	215	34	–	–	–
アラブ首長国連邦	60	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	1	–	–	–
ミャンマー	8,366	22	–	20	–	45	–	–	9	–	305	441	21	1	21	12
バーレーン	20	1	–	–	–	–	–	–	1	–	1	1	–	–	–	–
ブータン	68	2	–	–	–	–	–	–	1	1	–	3	–	–	–	1
バングラデシュ	11,162	235	–	2	–	115	–	–	65	6	472	561	11	3	418	45
ブルネイ	31	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	2	1	–	–	1
カンボジア	2,651	6	–	–	–	2	–	–	2	–	38	18	–	–	5	2
スリランカ	8,973	46	–	24	–	199	–	1	9	2	414	873	119	1	195	20
中国	680,518	2,440	117	120	10	2,555	7	134	936	104	27,166	34,210	6,307	778	15,595	923
キプロス	30	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	1	1	–	–	–
東ティモール	12	–	–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
インド	22,858	312	2	61	1	319	1	–	150	33	3,925	829	1,731	16	3,224	39
インドネシア	25,546	114	–	45	–	20	–	2	38	2	455	239	178	218	203	63
イラン	5,018	77	–	–	4	27	–	–	20	1	46	27	10	1	65	20
イラク	87	4	–	–	–	1	–	–	–	–	–	4	1	–	1	1
イスラエル	713	12	–	2	–	34	–	–	4	1	16	26	24	3	2	11
ヨルダン	191	3	–	–	–	4	–	–	3	–	4	13	1	–	–	1
韓国・朝鮮	578,495	1,025	43	1,049	64	2,492	6	21	258	94	8,015	8,962	2,242	363	1,592	364
クウェート	34	–	–	–	–	4	–	–	–	–	5	–	1	–	–	–
ラオス	2,681	6	–	3	–	–	–	–	2	–	46	21	–	–	4	1
レバノン	103	2	–	–	–	6	–	–	–	–	5	6	1	–	–	1
マレーシア	8,344	37	1	3	–	57	–	8	20	5	610	401	158	16	47	15
モンゴル	4,917	33	1	3	1	10	–	–	10	3	153	229	22	55	16	28
オマーン	21	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	1
モルディブ	42	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–
ネパール	15,255	46	–	2	–	271	–	4	18	7	280	356	62	3	4,970	15
パキスタン	10,295	42	–	7	–	526	–	–	4	3	51	728	77	6	160	10
フィリピン	211,716	81	3	236	1	38	–	–	47	117	2,118	951	782	7,465	278	19
カタール	14	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7	–	2	–	–	–
サウジアラビア	643	1	–	1	–	6	–	–	–	1	9	3	53	–	1	10
シリア	177	8	–	–	1	1	–	–	2	–	–	6	–	–	3	2
シンガポール	2,560	20	1	22	2	37	3	–	2	57	126	222	100	10	6	4
タイ	42,686	126	2	99	–	80	–	1	57	–	255	413	430	174	994	70
トルコ	2,452	31	8	1	1	21	–	–	5	12	37	72	36	1	99	10
ベトナム	41,000	102	1	136	6	18	–	41	36	1	2,188	497	157	3	175	28
イエメン	50	4	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–
パレスチナ	55	2	–	–	–	–	–	–	1	–	2	2	–	–	–	–
ヨーロッパ	**61,721**	**1,482**	**125**	**558**	**109**	**1,342**	**39**	**3**	**438**	**1,586**	**1,960**	**6,689**	**2,227**	**1,012**	**433**	**579**
アルバニア	65	2	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
オーストリア	560	23	1	1	–	12	–	–	9	3	10	26	29	4	7	7
ベルギー	685	13	–	20	–	25	–	–	7	5	19	66	38	6	2	4
ブルガリア	440	29	5	–	1	1	1	–	9	2	14	52	3	7	6	5
ベラルーシ	295	6	–	–	–	–	–	–	4	–	10	15	–	31	2	3
クロアチア	107	2	1	–	1	–	–	–	–	–	5	2	3	5	4	2

2/8

国籍(出身地)	短期滞在						留学	就学	研修	家族滞在	特定活動			永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	特別永住者	未取得者	一時庇護	その他
	計	観光	商用	文化・学術活動	親族訪問	その他					計	ワーキング・ホリデー	その他								
総数	**33,378**	**19,419**	**1,563**	**436**	**9,447**	**2,513**	**145,909**	**46,759**	**65,209**	**115,081**	**130,636**	**6,275**	**124,361**	**533,472**	**221,923**	**19,570**	**221,771**	**409,565**	**12,376**	**30**	**14,766**
アジア	**25,669**	**13,704**	**1,252**	**340**	**8,295**	**2,078**	**135,544**	**44,757**	**64,813**	**98,447**	**126,442**	**4,258**	**122,184**	**343,993**	**144,063**	**15,187**	**94,657**	**408,490**	**8,207**	**30**	**13,678**
アフガニスタン	87	27	54	–	1	5	67	1	4	215	10	–	10	143	31	10	55	3	12	–	28
アラブ首長国連邦	2	2	–	–	–	–	48	–	–	4	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	1
ミャンマー	705	496	40	20	108	41	1,114	449	139	483	1,782	–	1,782	857	491	62	795	2	101	–	489
バーレーン	–	–	–	–	–	–	7	1	–	8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ブータン	3	2	–	–	1	–	23	1	3	6	–	–	–	6	14	–	4	–	–	–	–
バングラデシュ	422	271	37	1	77	36	1,797	88	40	2,253	197	–	197	1,954	451	148	384	–	121	–	1,374
ブルネイ	2	1	–	–	1	–	17	–	1	–	–	–	–	2	2	–	–	–	–	–	1
カンボジア	15	3	–	1	9	2	343	42	131	48	142	–	142	1,374	170	95	199	–	15	–	4
スリランカ	1,246	772	219	20	118	117	1,159	269	113	1,369	229	–	229	1,226	743	106	199	2	85	–	324
中国	6,332	3,123	292	25	2,197	695	94,355	32,408	50,487	55,640	90,030	311	89,719	156,295	56,510	7,087	33,651	2,818	2,101	–	1,402
キプロス	12	12	–	–	–	–	3	–	–	–	1	–	1	5	3	–	1	–	–	–	1
東ティモール	–	–	–	–	–	–	5	–	2	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
インド	680	440	112	6	54	68	601	109	159	5,823	414	–	414	3,124	407	183	393	3	66	–	253
インドネシア	449	353	12	6	60	18	2,349	259	3,053	1,754	7,561	–	7,561	3,462	2,854	127	1,774	7	123	–	197
イラン	525	480	5	2	20	18	248	11	1	346	23	–	23	2,367	560	104	252	9	77	–	197
イラク	2	1	1	–	–	–	22	–	–	19	7	–	7	9	7	2	5	–	1	–	1
イスラエル	95	82	–	–	7	6	32	7	–	119	1	–	1	137	158	5	18	–	2	–	4
ヨルダン	4	3	–	–	1	–	31	1	4	49	3	–	3	40	21	3	4	–	2	–	–
韓国・朝鮮	4,184	2,899	68	181	699	337	19,807	7,804	94	18,533	4,711	3,947	764	56,171	21,052	2,643	8,622	405,571	1,425	–	1,288
クウェート	–	–	–	–	–	–	9	1	–	6	–	–	–	1	2	–	3	1	–	–	1
ラオス	66	23	1	–	38	4	300	7	125	104	159	–	159	1,296	120	80	309	1	22	–	9
レバノン	3	–	2	–	–	1	20	–	–	18	–	–	–	20	14	2	1	–	1	–	3
マレーシア	366	291	40	2	25	8	2,492	145	132	1,030	67	–	67	1,846	659	31	133	9	30	–	26
モンゴル	190	106	6	5	45	28	1,295	356	160	969	362	–	362	229	567	12	158	–	27	–	28
オマーン	–	–	–	–	–	–	10	–	–	6	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–
モルディブ	–	–	–	–	–	–	1	–	1	1	–	–	–	18	18	–	1	–	–	–	–
ネパール	336	189	23	12	64	48	1,681	906	64	3,297	104	–	104	1,568	523	158	409	1	66	–	108
パキスタン	923	634	157	7	71	54	161	18	26	1,527	114	–	114	3,070	895	308	656	3	122	–	858
フィリピン	6,705	1,812	65	29	4,345	454	615	133	3,970	2,134	8,608	–	8,608	84,407	46,027	2,765	37,131	45	2,782	–	4,258
カタール	–	–	–	–	–	–	1	–	–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
サウジアラビア	16	13	–	1	2	–	279	5	6	228	10	–	10	2	6	–	2	–	1	–	3
シリア	7	3	4	–	–	–	44	1	3	21	2	–	2	46	22	4	4	–	–	–	–
シンガポール	332	305	2	7	8	10	193	34	8	298	11	–	11	708	311	6	40	3	3	–	1
タイ	1,389	1,102	55	9	175	48	2,656	854	1,725	628	2,278	–	2,278	13,883	9,113	430	3,532	12	799	–	2,686
トルコ	324	214	16	5	47	42	176	15	6	196	139	–	139	537	471	55	73	–	30	–	96
ベトナム	247	45	41	1	122	38	3,552	832	4,355	1,266	9,477	–	9,477	9,187	1,827	761	5,847	–	193	30	37
イエメン	–	–	–	–	–	–	14	–	1	20	–	–	–	2	5	–	2	–	–	–	–
パレスチナ	–	–	–	–	–	–	17	–	–	25	–	–	–	–	6	–	–	–	–	–	–
ヨーロッパ	**2,450**	**1,929**	**116**	**52**	**232**	**121**	**4,758**	**1,149**	**95**	**6,604**	**1,636**	**1,066**	**570**	**13,167**	**10,614**	**415**	**1,742**	**198**	**229**	**–**	**82**
アルバニア	2	–	–	–	1	1	9	–	1	11	1	–	1	17	19	–	–	2	–	–	–
オーストリア	54	43	–	2	5	4	58	13	–	35	2	–	2	164	81	3	16	–	2	–	–
ベルギー	42	39	–	–	3	–	53	26	–	100	3	–	3	142	100	3	8	1	1	–	1
ブルガリア	7	3	–	–	3	1	114	1	–	45	10	–	10	69	43	4	9	–	–	–	3
ベラルーシ	2	2	–	–	–	–	24	–	–	28	5	–	5	56	93	5	11	–	–	–	–
クロアチア	2	2	–	–	–	–	16	1	–	23	–	–	–	22	15	–	1	–	2	–	–

3/8

国籍(出身地)	総数	教授	芸術	宗教	報道	投資・経営	法律・会計業務	医療	研究	教育	技術	人文知識・国際業務	企業内転勤	興行	技能	文化活動
チェコ	243	14	2	–	–	–	–	–	6	1	9	9	6	1	3	5
デンマーク	557	7	–	1	–	29	–	–	3	–	7	22	42	–	3	13
エストニア	84	2	–	–	–	1	–	–	–	–	2	5	–	2	–	2
フィンランド	616	8	1	30	1	7	–	–	6	4	40	17	36	1	2	13
フランス	9,193	209	9	31	20	297	4	–	96	73	621	1,026	467	33	77	123
ドイツ	6,006	213	15	87	17	188	2	–	54	43	191	414	538	10	24	131
ギリシャ	285	5	–	–	2	3	–	–	3	–	9	10	16	–	1	3
ハンガリー	443	25	–	–	1	7	–	–	4	4	16	40	9	2	6	6
アイスランド	50	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	1
アイルランド	1,059	23	2	20	1	26	1	–	2	155	85	158	37	4	12	5
イタリア	2,668	73	10	100	7	64	1	–	28	5	55	310	65	17	67	36
キルギス	206	3	–	–	3	1	–	–	1	–	–	14	–	–	–	–
カザフスタン	196	8	–	–	–	–	–	–	–	1	3	9	–	4	–	1
リヒテンシュタイン	8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ルクセンブルク	26	1	–	1	–	–	–	–	–	1	1	5	–	–	–	–
ラトビア	69	1	1	–	–	–	–	–	–	–	1	6	1	2	–	–
リトアニア	178	1	–	2	–	2	–	–	–	–	6	11	1	1	–	4
マルタ	32	1	–	1	–	1	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–
モルドバ	142	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	11	–	–
マケドニア	29	2	1	–	–	–	–	–	–	–	1	2	–	–	1	–
オランダ	1,128	22	3	7	2	55	1	–	4	5	32	64	65	7	4	17
ノルウェー	410	3	–	25	–	9	–	–	1	2	10	9	22	1	3	5
ポーランド	990	42	2	21	–	1	–	–	17	2	29	43	17	28	2	21
ポルトガル	446	3	1	6	–	5	–	–	1	–	14	17	10	6	4	6
ルーマニア	2,470	20	1	2	–	5	–	–	11	2	53	52	24	181	1	6
ロシア	7,814	145	33	3	12	126	–	–	63	11	129	640	43	333	72	18
サンマリノ	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
スペイン	1,892	46	12	106	6	14	–	–	12	6	44	104	39	43	14	43
スウェーデン	1,600	23	4	6	2	37	–	–	17	3	49	103	148	5	2	18
スイス	1,100	23	–	15	5	41	–	–	10	2	37	72	48	1	6	16
トルクメニスタン	22	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–
タジキスタン	45	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
英国	16,597	418	13	69	27	374	29	3	38	1,249	415	3,176	511	65	89	44
ウクライナ	1,590	30	5	1	–	4	–	–	16	–	19	36	1	167	10	4
ウズベキスタン	727	8	–	–	1	3	–	–	–	2	7	108	2	6	1	11
ユーゴスラヴィア	16	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
アルメニア	31	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–	4	–	1	1	–
アゼルバイジャン	52	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	8	–	–	2	1
アンドラ	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–
グルジア	55	7	1	–	–	–	–	–	2	–	1	1	–	3	1	–
スロベニア	56	–	1	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	2	1	–
スロバキア	240	12	–	3	–	3	–	–	12	1	3	13	1	15	1	2
ボスニア・ヘルツェゴビナ	30	1	–	–	–	–	–	–	–	–	2	1	1	–	–	–
セルビア・モンテネグロ	95	1	–	–	–	–	–	–	2	1	4	13	–	5	1	2
セルビア共和国	62	4	–	–	–	–	–	–	–	3	1	2	–	1	1	1
モンテネグロ共和国	9	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	1	–	–

4/8

国籍（出身地）	短期滞在						留学	就学	研修	家族滞在	特定活動			永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	特別永住者	未取得者	一時庇護	その他
	計	観光	商用	文化・学術活動	親族訪問	その他					計	ワーキング・ホリデー	その他								
チェコ	4	4	–	–	–	–	53	6	–	23	3	–	3	38	52	1	6	–	1	–	–
デンマーク	50	45	1	–	3	1	32	16	4	93	21	19	2	108	86	3	11	2	2	–	2
エストニア	3	3	–	–	–	–	26	3	–	1	–	–	–	11	20	1	4	–	1	–	–
フィンランド	4	3	–	–	–	1	105	63	1	85	5	–	5	116	59	3	4	1	2	–	2
フランス	223	184	6	1	20	12	713	112	1	1,520	595	489	106	1,396	1,307	24	112	50	34	–	20
ドイツ	123	84	7	10	11	11	645	143	14	827	341	253	88	1,231	620	6	90	12	21	–	6
ギリシャ	76	71	1	1	2	1	22	2	–	6	1	–	1	74	38	–	6	6	1	–	1
ハンガリー	4	3	–	–	–	1	85	15	2	48	4	–	4	70	79	3	9	2	1	–	1
アイスランド	2	2	–	–	–	–	22	5	–	3	1	–	1	5	9	–	–	–	–	–	–
アイルランド	27	22	1	1	2	1	24	3	–	74	20	19	1	211	157	1	5	3	3	–	–
イタリア	162	148	2	–	6	6	177	98	8	199	9	–	9	600	492	10	56	8	7	–	4
キルギス	2	–	1	–	1	–	98	1	5	51	–	–	–	5	22	–	–	–	–	–	–
カザフスタン	2	1	–	–	–	1	79	6	1	21	2	–	2	29	24	–	4	1	–	–	1
リヒテンシュタイン	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	1	–	–	–	2	–	–
ルクセンブルク	3	3	–	–	–	–	4	1	–	1	–	–	–	3	5	–	–	–	–	–	–
ラトビア	2	–	–	1	1	–	21	2	1	5	–	–	–	10	15	–	–	–	–	–	1
リトアニア	3	3	–	–	–	–	32	5	2	21	1	–	1	34	35	7	9	–	1	–	–
マルタ	10	10	–	–	–	–	2	–	–	5	–	–	–	5	4	–	–	1	–	–	–
モルドバ	1	–	–	–	1	–	11	1	–	6	–	–	–	34	63	3	11	–	–	–	–
マケドニア	–	–	–	–	–	–	8	–	–	2	–	–	–	5	6	–	1	–	–	–	–
オランダ	112	102	–	1	8	1	116	18	1	171	13	–	13	212	141	3	31	9	10	–	3
ノルウェー	24	21	2	1	–	–	105	23	–	40	4	–	4	68	43	1	8	–	4	–	–
ポーランド	13	6	–	–	5	2	124	8	10	87	13	–	13	287	176	7	29	2	7	–	2
ポルトガル	40	36	1	–	–	3	43	5	–	16	1	–	1	166	62	5	31	–	1	–	3
ルーマニア	63	22	–	–	31	10	90	7	1	66	21	–	21	621	907	76	227	1	29	–	3
ロシア	335	178	85	6	47	19	367	101	7	891	109	–	109	1,922	1,733	145	539	6	22	–	9
サンマリノ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
スペイン	170	157	–	1	7	5	135	63	4	149	9	–	9	481	330	6	44	3	5	–	4
スウェーデン	56	46	1	3	2	4	208	242	1	274	11	–	11	182	181	3	12	5	7	–	1
スイス	74	56	1	10	2	5	80	32	2	105	12	–	12	321	165	4	9	14	5	–	1
トルクメニスタン	–	–	–	–	–	–	10	–	2	5	–	–	–	2	1	–	–	–	–	–	–
タジキスタン	–	–	–	–	–	–	17	–	8	16	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–
英国	685	601	6	10	45	23	589	96	10	1,224	367	286	81	3,899	2,740	56	288	68	45	–	10
ウクライナ	36	12	1	1	20	2	76	7	1	78	21	–	21	403	527	27	117	–	3	–	1
ウズベキスタン	21	7	–	3	6	5	233	18	6	180	9	–	9	22	64	2	15	–	6	–	2
ユーゴスラヴィア	1	1	–	–	–	–	–	–	–	3	1	–	1	9	1	–	1	–	–	–	–
アルメニア	–	–	–	–	–	–	2	–	–	9	–	–	–	8	4	–	–	–	–	–	–
アゼルバイジャン	1	1	–	–	–	–	22	1	–	4	1	–	1	4	5	–	–	–	1	–	–
アンドラ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
グルジア	–	–	–	–	–	–	14	1	1	11	3	–	3	6	2	–	1	–	–	–	–
スロベニア	5	5	–	–	–	–	15	1	–	6	–	–	–	11	10	1	–	–	–	–	1
スロバキア	2	2	–	–	–	–	29	3	1	14	5	–	5	53	52	2	12	1	–	–	–
ボスニア・ヘルツェゴビナ	–	–	–	–	–	–	14	–	–	3	1	–	1	2	3	–	2	–	–	–	–
セルビア・モンテネグロ	1	–	–	–	–	1	12	–	–	8	7	–	7	21	14	–	2	–	1	–	–
セルビア共和国	–	–	–	–	–	–	22	–	–	10	3	–	3	6	5	–	1	–	2	–	–
モンテネグロ共和国	–	–	–	–	–	–	2	–	–	1	1	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–

5/8

国籍(出身地)	総数	教授	芸術	宗教	報道	投資・経営	法律・会計業務	医療	研究	教育	技術	人文知識・国際業務	企業内転勤	興行	技能	文化活動
アフリカ	12,226	176	2	65	–	56	–	–	45	206	152	309	45	18	47	113
アルジェリア	149	7	–	–	–	–	–	–	2	–	8	2	1	–	1	3
ブルンジ	15	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ボツワナ	16	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
カメルーン	319	2	–	2	–	–	–	–	4	4	4	11	2	1	–	1
中央アフリカ	10	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
チャド	5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–
コンゴ共和国	30	2	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–	1
コンゴ民主共和国	305	2	–	16	–	1	–	–	1	–	3	7	–	1	–	2
カーボヴェルデ	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
コモロ	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
ベナン	34	–	–	–	–	–	–	–	1	–	1	1	–	–	–	–
ジブチ	7	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
エチオピア	350	7	–	–	–	–	–	–	3	4	3	4	–	–	6	–
エリトリア	11	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ガボン	28	–	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–	–
ガーナ	1,936	4	–	9	–	11	–	–	1	19	1	39	1	3	3	3
ギニア	268	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–
ガンビア	23	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
ギニアビサウ	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
コートジボワール	96	1	–	–	–	–	–	–	–	–	7	6	–	–	–	2
ケニア	549	8	–	6	–	–	–	–	2	19	12	27	2	1	–	–
リベリア	25	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
リビア	50	3	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1
レソト	50	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
マダガスカル	78	5	–	–	–	–	–	–	1	–	1	1	–	–	–	1
マリ	128	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	3	–	–	–	–
モーリタニア	13	2	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
モロッコ	378	3	–	–	–	1	–	–	–	–	28	16	1	1	4	3
マラウイ	44	1	–	–	–	1	–	–	–	1	2	–	–	–	–	–
モーリシャス	87	–	–	–	–	–	–	–	–	2	1	6	2	–	2	–
モザンビーク	15	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
ニジェール	12	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ナイジェリア	2,676	15	–	5	–	10	–	–	1	7	6	23	1	2	2	1
ナミビア	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
ルワンダ	21	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
セネガル	304	3	–	–	–	–	–	–	–	2	14	5	–	5	–	–
シエラレオネ	47	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–
ソマリア	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
スーダン	212	8	–	–	–	3	–	–	–	–	2	8	–	–	–	–
セーシェル	8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
タンザニア	387	3	–	1	–	1	–	–	2	–	12	9	1	1	–	1
トーゴ	22	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	1
チュニジア	344	9	–	–	–	2	–	–	2	–	15	6	2	–	10	3
ウガンダ	486	1	–	1	–	5	–	–	1	6	4	13	1	–	3	3
南アフリカ共和国	602	5	2	13	–	9	–	–	2	135	6	83	18	3	5	1
エジプト	1,850	82	–	1	–	10	–	–	19	1	13	21	11	–	9	86
ブルキナファソ	21	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ザンビア	84	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	3	–	–	–	–
ジンバブエ	96	2	–	–	–	–	–	–	1	3	–	9	–	–	–	–
アンゴラ	21	–	–	9	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–

6/8

国籍(出身地)	短期滞在						留学	就学	研修	家族滞在	特定活動			永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	特別永住者	未取得者	一時庇護	その他
	計	観光	商用	文化・学術活動	親族訪問	その他					計	ワーキング・ホリデー	その他								
アフリカ	1,167	754	162	25	123	103	1,271	98	65	1,681	405	–	405	3,232	2,093	150	430	23	140	–	237
アルジェリア	2	–	–	–	1	1	19	1	3	20	1	–	1	44	25	1	7	–	2	–	–
ブルンジ	3	1	–	–	–	2	–	–	–	–	8	–	8	2	1	–	–	–	–	–	1
ボツワナ	–	–	–	–	–	–	10	–	–	–	2	–	2	2	–	–	1	–	–	–	–
カメルーン	87	34	28	5	5	15	27	4	1	22	32	–	32	28	70	4	7	–	2	–	4
中央アフリカ	2	–	–	–	–	2	–	–	1	1	–	–	–	3	1	–	–	–	–	–	–
チャド	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–	1
コンゴ共和国	1	1	–	–	–	–	1	–	–	8	–	–	–	13	2	–	–	–	–	–	–
コンゴ民主共和国	16	8	–	–	4	4	23	1	3	38	39	–	39	109	15	2	16	1	–	–	9
カーボヴェルデ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
コモロ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ベナン	1	1	–	–	–	–	12	2	2	–	1	–	1	7	4	1	1	–	–	–	–
ジブチ	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	1	–	1	–	–	1	1	1	–	–	2
エチオピア	16	8	1	–	6	1	49	–	4	51	85	–	85	54	45	4	9	–	1	–	5
エリトリア	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	6	2	1	–	–	–	–	–
ガボン	–	–	–	–	–	–	15	–	–	4	–	–	–	3	1	–	–	–	–	–	3
ガーナ	195	145	10	8	20	12	65	9	4	125	16	–	16	810	301	38	173	2	37	–	67
ギニア	27	11	3	–	10	3	15	3	2	8	8	–	8	90	88	5	6	–	3	–	11
ガンビア	3	1	–	–	–	2	–	–	–	3	–	–	–	9	4	–	1	–	1	–	1
ギニアビサウ	3	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
コートジボワール	6	4	1	–	1	–	19	–	1	5	5	–	5	23	14	–	4	–	3	–	–
ケニア	19	8	1	–	8	2	122	22	7	41	63	–	63	93	82	2	19	–	1	–	1
リベリア	4	4	–	–	–	–	3	–	–	1	5	–	5	5	6	–	–	–	–	–	1
リビア	1	–	–	–	–	1	14	–	–	17	2	–	2	5	5	–	–	–	–	–	1
レソト	44	41	–	2	–	1	1	–	1	–	2	–	2	–	1	–	–	–	–	–	1
マダガスカル	–	–	–	–	–	–	22	–	1	18	–	–	–	8	16	–	3	–	–	–	1
マリ	14	7	3	–	4	–	7	1	–	3	6	–	6	51	31	1	8	–	–	–	1
モーリタニア	–	–	–	–	–	–	5	–	–	1	1	–	1	1	1	–	–	–	1	–	–
モロッコ	2	1	–	–	1	–	37	3	2	19	5	–	5	127	108	8	4	3	2	–	1
マラウイ	–	–	–	–	–	–	19	–	–	8	3	–	3	2	7	–	–	–	–	–	–
モーリシャス	38	35	–	–	2	1	–	1	–	2	–	–	–	15	16	–	2	–	–	–	–
モザンビーク	–	–	–	–	–	–	9	–	1	1	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–	–
ニジェール	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	4	6	–	–	–	–	–	–
ナイジェリア	343	274	27	3	21	18	74	10	1	99	26	–	26	1,113	682	54	60	13	44	–	84
ナミビア	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–
ルワンダ	1	1	–	–	–	–	6	–	1	–	–	–	–	4	3	–	5	–	–	–	–
セネガル	16	6	4	–	5	1	35	28	1	9	9	–	9	76	94	3	3	–	1	–	–
シエラレオネ	2	–	–	–	2	–	6	–	–	–	2	–	2	26	6	–	1	1	1	–	–
ソマリア	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	1	–	–	–	–
スーダン	8	4	–	–	–	4	31	–	3	49	14	–	14	54	12	1	6	–	–	–	13
セーシェル	3	2	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	3	1	–	1	–	–	–	–
タンザニア	67	26	15	3	17	6	60	3	4	40	5	–	5	57	95	6	8	–	8	–	3
トーゴ	3	2	–	–	1	–	1	–	1	–	2	–	2	6	3	1	1	–	–	–	1
チュニジア	29	24	–	1	3	1	78	3	–	51	11	–	11	58	47	3	11	–	2	–	2
ウガンダ	155	59	64	2	6	24	51	–	2	11	11	–	11	66	120	4	21	–	2	–	5
南アフリカ共和国	34	31	2	–	1	–	23	–	3	74	21	–	21	76	71	–	14	–	2	–	2
エジプト	12	5	3	–	3	1	357	2	11	913	10	–	10	142	70	9	28	2	26	–	15
ブルキナファソ	1	–	–	–	–	1	–	1	3	–	–	–	–	3	11	–	–	–	–	–	–
ザンビア	6	5	–	–	1	–	17	–	–	20	2	–	2	20	8	–	4	–	1	–	1
ジンバブエ	3	2	–	1	–	–	29	–	1	18	4	–	4	11	13	–	2	–	–	–	–
アンゴラ	–	–	–	–	–	–	3	3	–	–	3	–	3	–	1	–	1	–	–	–	–

7/8

国籍（出身地）	総数	教授	芸術	宗教	報道	投資・経営	法律・会計業務	医療	研究	教育	技術	人文知識・国際業務	企業内転勤	興行	技能	文化活動
北米	**66,876**	**1,408**	**107**	**1,733**	**58**	**1,136**	**90**	**5**	**126**	**6,612**	**1,145**	**9,154**	**1,538**	**449**	**208**	**309**
バルバドス	64	–	–	–	–	–	–	–	–	10	–	3	–	–	3	–
バハマ	97	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	3	1	–	–	–
ベリーズ	9	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
カナダ	10,652	281	9	136	14	132	6	1	28	1,120	268	2,329	136	94	49	39
コスタリカ	177	–	–	2	–	–	–	–	2	–	1	3	–	–	2	–
キューバ	215	4	12	–	–	1	–	–	–	–	–	2	–	12	3	–
ドミニカ共和国	477	–	–	–	–	2	–	–	–	–	1	6	–	4	–	1
ドミニカ	44	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	3	–	–	–	–
エルサルバドル	125	–	–	–	–	1	–	–	–	2	–	4	–	–	–	1
グアテマラ	107	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	2	–	–	–	–
ハイチ	21	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
ホンジュラス	177	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6	–	–	–	–
ジャマイカ	316	3	–	2	–	1	–	–	–	136	2	28	–	1	1	–
メキシコ	1,995	17	–	39	–	8	–	–	8	4	34	34	37	26	20	11
ニカラグア	75	1	–	2	–	1	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–
パナマ	64	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	1	1	–
セントルシア	13	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	1	–	–	1	–
セントビンセント	7	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
セントクリストファー・ネーヴィス	1	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
トリニダード・トバゴ	80	–	–	–	–	–	–	–	–	29	1	13	–	1	–	–
米国	52,149	1,101	86	1,552	44	990	84	4	87	5,306	833	6,710	1,364	310	126	257
グレナダ	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
アンティグア・バーブーダ	10	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	1	–	–	2	–
南米	**340,857**	**69**	**71**	**144**	**4**	**54**	**–**	**–**	**23**	**25**	**123**	**183**	**127**	**238**	**105**	**24**
アルゼンチン	3,484	9	48	6	–	7	–	–	2	3	10	23	20	11	6	4
ボリビア	6,094	5	–	4	–	3	–	–	–	–	3	4	–	–	–	–
ブラジル	267,456	37	12	110	4	28	–	–	13	9	54	103	94	197	72	9
チリ	710	3	1	1	–	7	–	–	1	–	12	6	3	5	2	5
コロンビア	2,705	3	10	8	–	4	–	–	2	1	11	11	5	6	5	1
エクアドル	229	2	–	1	–	–	–	–	–	–	3	9	1	10	–	1
ガイアナ	10	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
パラグアイ	2,240	1	–	–	–	–	–	–	2	1	1	3	–	1	1	–
ペルー	57,464	6	–	8	–	3	–	–	–	8	10	15	2	2	16	1
スリナム	15	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ウルグアイ	127	1	–	1	–	–	–	–	–	–	2	1	–	1	–	1
ベネズエラ	323	2	–	5	–	2	–	–	3	3	17	8	2	5	3	2
オセアニア	14,179	318	6	102	9	259	15	–	37	1,249	353	2,712	283	132	162	37
オーストラリア	10,265	256	5	76	6	216	12	–	31	837	299	2,079	248	111	91	32
フィジー	204	4	–	2	–	2	–	–	–	4	6	18	–	–	6	1
キリバス	6	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
マーシャル	7	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ミクロネシア	32	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ニュージーランド	3,360	56	1	22	3	41	2	–	6	403	45	603	35	20	64	4
ナウル	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
パプアニューギニア	61	2	–	1	–	–	–	–	–	2	–	2	–	–	–	–
パラオ	27	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
ソロモン	29	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
トンガ	116	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	8	–	–	–	–
ツバル	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
バヌアツ	5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
サモア	61	–	–	1	–	–	1	–	–	2	2	1	–	1	–	–
無国籍	**1,397**	**1**	**–**	**6**	**–**	**–**	**–**	**–**	**1**	**1**	**3**	**15**	**1**	**–**	**1**	**1**

8/8

国籍（出身地）	短期滞在						留学	就学	研修	家族滞在	特定活動			永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	特別永住者	未取得者	一時庇護	その他
	計	観光	商用	文化・学術活動	親族訪問	その他					計	ワーキング・ホリデー	その他								
北米	**1,192**	**919**	**22**	**13**	**160**	**78**	**2,995**	**483**	**53**	**6,318**	**547**	**282**	**265**	**16,067**	**11,838**	**302**	**2,049**	**663**	**207**	**–**	**84**
バルバドス	39	39	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	3	2	–	1	–	1	–	–
バハマ	82	80	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–	2	5	–	–	–	2	–	1
ベリーズ	1	1	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	2	2	–	–	–	–	–	–
カナダ	117	90	1	–	16	10	362	115	3	682	367	282	85	2,190	1,845	40	172	86	18	–	13
コスタリカ	22	21	–	–	–	1	23	5	1	5	–	–	–	61	28	–	19	2	1	–	–
キューバ	2	1	–	–	1	–	16	–	–	8	4	–	4	63	73	2	11	–	1	–	1
ドミニカ共和国	71	51	8	–	10	2	16	1	1	10	3	–	3	146	113	22	73	–	6	–	1
ドミニカ	8	4	1	–	2	1	2	1	1	–	1	–	1	14	5	2	4	–	–	–	2
エルサルバドル	4	4	–	–	–	–	16	–	3	2	1	–	1	46	30	2	12	–	1	–	–
グアテマラ	9	7	–	–	1	1	13	–	1	6	1	–	1	32	31	–	10	–	1	–	–
ハイチ	–	–	–	–	–	–	5	–	–	4	–	–	–	5	5	–	–	1	–	–	–
ホンジュラス	38	36	–	–	2	–	16	1	–	6	1	–	1	59	33	1	11	–	2	–	2
ジャマイカ	3	2	–	–	–	1	13	1	1	17	–	–	–	43	54	1	7	2	–	–	–
メキシコ	89	58	1	3	21	6	163	37	10	130	7	–	7	637	436	19	201	9	13	–	6
ニカラグア	1	1	–	–	–	–	13	–	1	2	2	–	2	31	10	1	5	–	1	–	–
パナマ	4	3	–	–	1	–	16	3	3	11	–	–	–	11	7	1	3	–	–	–	1
セントルシア	–	–	–	–	–	–	2	–	1	1	–	–	–	1	4	–	–	–	–	–	–
セントビンセント	–	–	–	–	–	–	1	–	1	1	–	–	–	1	2	–	–	–	–	–	–
セントクリストファー・ネーヴィス	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
トリニダード・トバゴ	5	3	1	–	–	1	3	–	–	3	–	–	–	11	12	–	2	–	–	–	–
米国	697	518	10	10	105	54	2,312	319	26	5,424	160	–	160	12,708	9,140	211	1,518	563	160	–	57
グレナダ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
アンティグア・バーブーダ	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–
南米	**2,704**	**1,964**	**6**	**4**	**615**	**115**	**789**	**93**	**152**	**699**	**446**	**–**	**446**	**154,304**	**50,761**	**3,457**	**122,514**	**28**	**3,300**	**–**	**420**
アルゼンチン	92	68	1	–	20	3	60	11	21	60	2	–	2	1,768	659	22	595	2	38	–	5
ボリビア	103	50	–	–	42	11	29	2	–	15	42	–	42	2,296	834	127	2,539	–	74	–	14
ブラジル	588	531	1	–	31	25	365	51	70	451	122	–	122	116,228	43,443	1,905	101,250	22	2,129	–	90
チリ	19	15	–	–	3	1	38	3	7	30	9	–	9	301	89	11	148	–	6	–	3
コロンビア	202	152	–	1	32	17	82	9	6	55	17	–	17	986	491	85	565	–	85	–	55
エクアドル	2	2	–	–	–	–	18	6	2	11	2	–	2	85	44	3	27	–	–	–	2
ガイアナ	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	6	1	–	–	–	–	–	–
パラグアイ	12	8	–	–	4	–	31	1	13	7	4	–	4	763	719	26	638	–	15	–	1
ペルー	1,662	1,117	4	2	482	57	118	7	26	44	240	–	240	31,711	4,418	1,273	16,695	4	950	–	245
スリナム	10	9	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	3	–	–	–	–	–	–
ウルグアイ	7	5	–	–	1	1	6	–	3	4	1	–	1	52	16	–	29	–	1	–	1
ベネズエラ	7	7	–	–	–	–	39	3	4	22	7	–	7	106	44	5	28	–	2	–	4
オセアニア	**168**	**123**	**5**	**1**	**21**	**18**	**525**	**166**	**28**	**1,307**	**1,157**	**669**	**488**	**2,313**	**2,468**	**47**	**156**	**99**	**38**	**–**	**33**
オーストラリア	112	81	2	1	17	11	343	126	3	956	794	599	195	1,602	1,767	33	106	77	21	–	26
フィジー	6	5	1	–	–	–	27	–	6	28	29	–	29	21	38	–	4	–	1	–	1
キリバス	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	2	3	–	–	–	–	–	–
マーシャル	–	–	–	–	–	–	2	–	–	2	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–
ミクロネシア	–	–	–	–	–	–	2	–	4	–	–	–	–	7	15	–	3	–	–	–	1
ニュージーランド	49	36	2	–	4	7	75	32	–	297	295	70	225	617	598	13	40	22	12	–	5
ナウル	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	1	–	–	–	–
パプアニューギニア	–	–	–	–	–	–	21	–	7	12	–	–	–	6	7	–	–	–	1	–	–
パラオ	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	–	8	13	–	–	–	–	–	–
ソロモン	–	–	–	–	–	–	9	–	1	7	–	–	–	4	6	1	–	–	–	–	–
トンガ	–	–	–	–	–	–	32	6	1	1	36	–	36	23	8	–	–	–	–	–	–
ツバル	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
バヌアツ	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	2	–	–
サモア	1	1	–	–	–	–	9	–	3	4	3	–	3	18	12	–	2	–	1	–	–
無国籍	**28**	**26**	**–**	**1**	**1**	**–**	**27**	**13**	**3**	**25**	**3**	**–**	**3**	**396**	**86**	**12**	**223**	**64**	**255**	**–**	**232**

出典：法務省入国管理局登録外国人統計（http://www.immi-moj.go.jp/toukei/index.html、2010年12月4日参照）

附表2：年齢別外国人人口(2005年)

1/2

男女，年齢（5歳階級）	総数	アジア州	イラン	インド	インドネシア	韓国，朝鮮	スリランカ	タイ	中国	ネパール	パキスタン	バングラデシュ	フィリピン	ベトナム	マレーシア	ミャンマー	モンゴル	その他
全国																		
総数	1,555,505	1,068,964	3,794	8,119	18,379	472,711	4,813	27,129	353,437	3,783	4,613	5,731	126,486	20,901	5,480	2,931	2,458	8,199
0～4歳	51,234	28,386	118	703	544	11,431	241	471	8,887	153	283	514	3,047	1,123	226	106	64	475
5～9	50,363	29,486	92	336	341	14,864	98	632	7,687	69	176	259	3,181	1,129	156	54	83	329
10～14	45,208	30,713	56	170	125	17,946	59	478	7,501	42	89	62	2,928	814	55	41	72	275
15～19	68,620	46,080	59	148	472	22,368	61	709	16,416	85	57	91	3,605	1,172	171	55	207	404
20～24	187,404	131,996	102	551	5,289	31,866	611	1,919	69,631	429	166	472	12,668	4,988	1,480	252	531	1,041
25～29	215,474	147,855	187	1,778	5,487	35,618	914	2,919	71,755	750	419	993	19,596	4,098	825	355	638	1,523
30～34	201,858	137,339	326	1,615	2,957	41,643	904	4,414	53,996	819	697	1,102	23,081	2,767	774	561	461	1,222
35～39	178,326	122,922	1,544	1,064	1,569	39,876	827	6,166	36,153	717	1,149	1,154	28,593	1,600	689	630	200	991
40～44	143,393	98,152	898	659	656	39,274	530	4,992	29,550	427	953	702	16,563	1,122	544	456	103	723
45～49	103,828	70,968	203	392	397	38,316	281	2,597	18,961	155	375	222	7,201	790	279	225	34	540
50～54	84,051	57,333	103	227	246	38,581	122	1,055	12,509	66	123	74	3,112	517	174	106	14	304
55～59	69,361	48,231	54	198	139	37,629	84	456	7,529	27	56	26	1,467	278	63	45	16	164
60～64	50,288	37,143	25	99	79	31,510	33	185	4,204	16	31	20	617	189	27	18	9	81
65～69	37,230	29,280	13	60	31	25,533	21	53	2,968	5	16	13	358	135	7	9	11	47
70～74	26,227	20,144	7	57	22	17,632	14	36	1,989	6	11	20	204	101	6	5	2	32
75～79	19,284	14,508	3	31	11	12,555	7	25	1,623	10	8	3	146	53	1	4	4	24
80～84	14,081	11,193	3	13	6	9,800	1	12	1,242	5	1	1	71	14	1	3	7	13
85歳以上	9,275	7,235	1	18	8	6,269	5	10	836	2	3	3	48	11	2	6	2	11
（再掲）																		
65歳以上	106,097	82,360	27	179	78	71,789	48	136	8,658	28	39	40	827	314	17	27	26	127
男	726,644	443,357	3,304	5,553	12,342	215,598	3,531	6,574	140,916	2,614	3,960	4,246	23,775	10,585	2,912	1,599	1,135	4,713
0～4歳	26,190	14,549	55	359	287	5,772	122	239	4,651	76	140	271	1,527	595	114	60	32	249
5～9	25,613	14,989	42	170	176	7,643	63	308	3,921	35	100	128	1,530	569	84	23	36	161
10～14	22,886	15,464	28	97	65	9,170	35	221	3,746	21	49	31	1,384	398	30	21	33	135
15～19	33,614	21,433	34	93	258	11,213	43	295	6,805	54	36	60	1,506	577	110	30	105	214
20～24	84,611	54,235	71	325	3,986	14,816	457	898	26,079	260	107	285	2,513	2,480	972	132	270	584
25～29	100,397	61,411	134	1,147	3,970	16,873	667	1,058	28,837	483	329	619	3,365	1,993	505	184	291	956
30～34	91,626	52,698	262	1,194	1,850	19,413	662	879	20,508	587	610	809	2,926	1,321	406	303	179	789
35～39	77,819	43,891	1,484	840	960	17,848	641	873	13,424	547	1,090	1,050	2,917	864	314	349	93	597
40～44	64,257	36,821	857	536	342	17,141	418	677	11,063	331	916	662	2,321	663	192	267	42	393
45～49	47,286	27,625	176	313	173	15,905	221	491	7,103	119	360	204	1,599	461	82	117	20	281
50～54	40,987	24,801	80	166	126	17,228	87	311	4,942	49	114	63	1,096	275	49	61	4	150
55～59	35,984	22,893	38	135	68	18,075	64	173	3,341	22	47	17	603	147	30	23	12	98
60～64	25,488	17,182	19	70	42	14,552	22	84	1,953	12	26	15	229	91	14	10	3	40
65～69	18,252	13,362	12	37	17	11,427	10	28	1,569	3	15	11	123	62	5	9	9	25
70～74	12,375	8,657	6	33	11	7,357	8	20	1,062	3	10	15	58	48	3	5	1	17
75～79	9,083	6,141	3	20	5	5,169	5	10	822	8	7	2	43	30	1	2	2	12
80～84	6,482	4,701	2	7	3	3,951	1	6	684	3	1	1	21	8	1	2	3	7
85歳以上	3,694	2,504	1	11	3	2,045	5	3	406	1	3	3	14	3	−	1	−	5
（再掲）																		
65歳以上	49,886	35,365	24	108	39	29,949	29	67	4,543	18	36	32	259	151	10	19	15	66
女	828,861	625,607	490	2,566	6,037	257,113	1,282	20,555	212,521	1,169	653	1,485	102,711	10,316	2,568	1,332	1,323	3,486
0～4歳	25,044	13,837	63	344	257	5,659	119	232	4,236	77	143	243	1,520	528	112	46	32	226
5～9	24,750	14,497	50	166	165	7,221	35	324	3,766	34	76	131	1,651	560	72	31	47	168
10～14	22,322	15,249	28	73	60	8,776	24	257	3,755	21	40	31	1,544	416	25	20	39	140
15～19	35,006	24,647	25	55	214	11,155	18	414	9,611	31	21	31	2,099	595	61	25	102	190
20～24	102,793	77,761	31	226	1,303	17,050	154	1,021	43,552	169	59	187	10,155	2,508	508	120	261	457
25～29	115,077	86,444	53	631	1,517	18,745	247	1,861	42,918	267	90	374	16,231	2,105	320	171	347	567
30～34	110,232	84,641	64	421	1,107	22,230	242	3,535	33,488	232	87	293	20,155	1,446	368	258	282	433
35～39	100,507	79,031	60	224	609	22,028	186	5,293	22,729	170	59	104	25,676	736	375	281	107	394
40～44	79,136	61,331	41	123	314	22,133	112	4,315	18,487	96	37	40	14,242	459	352	189	61	330
45～49	56,542	43,343	27	79	224	22,411	60	2,106	11,858	36	15	18	5,602	329	197	108	14	259
50～54	43,064	32,532	23	61	120	21,353	35	744	7,567	17	9	11	2,016	242	125	45	10	154
55～59	33,377	25,338	16	63	71	19,554	20	283	4,188	5	9	9	864	131	33	22	4	66
60～64	24,800	19,961	6	29	37	16,958	11	101	2,251	4	5	5	388	98	13	8	6	41
65～69	18,978	15,918	1	23	14	14,106	11	25	1,399	2	1	2	235	73	2	−	2	22
70～74	13,852	11,487	1	24	11	10,275	6	16	927	3	1	5	146	53	3	−	1	15
75～79	10,201	8,367	−	11	6	7,386	2	15	801	2	1	1	103	23	−	2	2	12
80～84	7,599	6,492	1	6	3	5,849	−	6	558	2	−	−	50	6	−	1	4	6
85歳以上	5,581	4,731	−	7	5	4,224	−	7	430	1	−	−	34	8	2	5	2	6
（再掲）																		
65歳以上	56,211	46,995	3	71	39	41,840	19	69	4,115	10	3	8	568	163	7	8	11	61

1/2

男女，年齢（5歳階級）	総数	北アメリカ州	アメリカ	カナダ	その他	南アメリカ州	アルゼンチン	ブラジル	ペルー	ボリビア	その他	ヨーロッパ州	イギリス	ドイツ	フランス	ロシア	その他	アフリカ州	オセアニア州	オーストラリア	ニュージーランド	その他	無国籍・不詳
全国																							
総数	1,555,505	48,637	38,581	7,692	2,364	267,007	2,755	215,487	40,444	3,866	4,455	35,006	10,183	3,654	4,446	4,139	12,584	6,630	9,981	6,985	2,595	401	119,280
0～4歳	51,234	2,157	1,825	240	92	17,653	139	14,037	2,986	286	205	1,341	331	178	252	138	442	423	427	263	145	19	847
5～9	50,363	2,128	1,856	184	88	16,596	155	13,097	2,925	263	156	975	248	142	168	123	294	229	269	180	75	14	680
10～14	45,208	1,734	1,538	138	58	11,165	125	8,504	2,184	166	186	762	171	89	153	127	222	99	158	122	31	5	577
15～19	68,620	1,553	1,319	150	84	16,236	150	13,249	2,375	210	252	910	174	126	94	148	368	127	263	185	56	22	3,451
20～24	187,404	5,580	4,482	912	186	28,658	220	24,584	2,963	379	512	4,064	1,141	271	346	644	1,662	386	1,206	853	273	80	15,514
25～29	215,474	6,462	4,496	1,580	386	34,428	304	29,186	3,788	483	667	6,150	1,659	352	719	980	2,440	823	2,103	1,465	571	67	17,653
30～34	201,858	5,918	4,096	1,367	455	33,516	367	27,013	4,961	494	681	5,463	1,549	412	737	820	1,945	1,331	2,094	1,438	578	78	16,197
35～39	178,326	5,608	4,159	1,083	366	30,465	321	23,447	5,557	559	581	4,419	1,468	520	589	408	1,434	1,546	1,359	948	357	54	12,007
40～44	143,393	4,844	3,760	821	263	26,308	317	20,417	4,595	451	528	3,315	1,183	457	397	262	1,016	935	819	591	205	23	9,020
45～49	103,828	3,528	2,967	400	161	19,635	255	15,342	3,391	300	347	2,217	768	300	301	170	678	446	500	366	115	19	6,534
50～54	84,051	2,875	2,486	286	103	14,824	203	12,061	2,238	149	173	1,767	556	229	247	111	624	136	303	231	65	7	6,813
55～59	69,361	2,096	1,852	188	56	9,667	101	8,114	1,292	73	87	1,374	430	192	196	76	480	66	232	164	66	2	7,695
60～64	50,288	1,313	1,156	128	29	4,926	57	4,144	667	24	34	827	212	137	102	55	321	40	108	78	24	6	5,931
65～69	37,230	753	667	70	16	1,732	22	1,426	256	12	16	507	112	109	46	36	204	14	42	29	11	2	4,902
70～74	26,227	777	710	52	15	667	8	490	145	7	17	337	79	59	31	19	149	11	32	24	6	2	4,259
75～79	19,284	668	613	51	4	310	8	210	81	6	5	304	61	46	32	14	151	13	40	29	10	1	3,441
80～84	14,081	383	355	26	2	132	2	98	25	3	4	150	23	23	21	2	81	3	15	11	4	–	2,205
85歳以上	9,275	260	244	16	–	89	1	68	15	1	4	124	18	12	15	6	73	2	11	8	3	–	1,554
（再掲）																							
65歳以上	106,097	2,841	2,589	215	37	2,930	41	2,292	522	29	46	1,422	293	249	145	77	658	43	140	101	34	5	16,361
男	726,644	31,022	24,694	5,107	1,221	145,356	1,505	118,339	21,407	2,078	2,027	19,915	7,239	2,259	2,898	1,226	6,293	5,051	6,451	4,480	1,717	254	75,492
0～4歳	26,190	1,071	899	127	45	9,070	74	7,278	1,463	148	107	663	181	88	120	65	209	206	216	139	68	9	415
5～9	25,613	1,071	931	90	50	8,465	80	6,635	1,531	141	78	502	139	73	81	52	157	128	146	107	35	4	312
10～14	22,886	860	756	68	36	5,769	72	4,383	1,110	92	112	376	82	36	83	56	119	49	78	65	10	3	290
15～19	33,614	804	690	74	40	8,622	82	7,091	1,215	111	123	418	98	56	49	65	150	85	132	89	29	14	2,120
20～24	84,611	3,103	2,553	465	85	15,154	124	13,120	1,468	193	249	1,703	685	151	240	103	524	238	603	409	138	56	9,575
25～29	100,397	4,329	3,118	983	228	18,715	169	15,990	1,968	233	355	3,130	1,201	233	539	195	962	547	1,278	885	348	45	10,987
30～34	91,626	4,285	2,994	1,023	268	18,564	213	15,156	2,618	271	306	3,218	1,181	269	543	192	1,033	1,057	1,531	1,040	438	53	10,273
35～39	77,819	4,128	3,101	834	193	16,849	159	13,113	3,030	318	229	2,938	1,113	357	399	155	914	1,345	1,026	702	281	43	7,642
40～44	64,257	3,430	2,677	635	118	14,603	166	11,481	2,486	260	210	2,251	906	310	267	116	652	824	583	416	155	12	5,745
45～49	47,286	2,349	2,010	283	56	10,973	134	8,657	1,893	155	134	1,422	573	199	186	88	376	366	340	253	80	7	4,211
50～54	40,987	1,882	1,644	198	40	8,518	117	6,978	1,275	87	61	1,051	403	134	126	53	335	98	203	155	45	3	4,434
55～59	35,984	1,343	1,205	116	22	5,636	58	4,789	714	41	34	860	324	121	116	36	263	45	155	106	48	1	5,052
60～64	25,488	844	740	86	18	2,885	33	2,455	376	13	8	506	163	88	52	18	185	32	72	52	18	2	3,967
65～69	18,252	453	404	40	9	916	12	758	134	6	6	310	72	60	28	14	136	10	26	19	7	–	3,175
70～74	12,375	386	344	33	9	332	3	243	74	4	8	209	54	39	22	5	89	7	20	16	3	1	2,764
75～79	9,083	344	307	34	3	166	7	117	36	3	3	197	40	27	24	8	98	10	27	18	8	1	2,198
80～84	6,482	203	191	11	1	68	2	51	11	1	3	92	15	11	14	–	52	2	9	5	4	–	1,407
85歳以上	3,694	137	130	7	–	51	–	44	5	1	1	69	9	7	9	5	39	2	6	4	2	–	925
（再掲）																							
65歳以上	49,886	1,523	1,376	125	22	1,533	24	1,213	260	15	21	877	190	144	97	32	414	31	88	62	24	2	10,469
女	828,861	17,615	13,887	2,585	1,143	121,651	1,250	97,148	19,037	1,788	2,428	15,091	2,944	1,395	1,548	2,913	6,291	1,579	3,530	2,505	878	147	43,788
0～4歳	25,044	1,086	926	113	47	8,583	65	6,759	1,523	138	98	678	150	90	132	73	233	217	211	124	77	10	432
5～9	24,750	1,057	925	94	38	8,131	75	6,462	1,394	122	78	473	109	69	87	71	137	101	123	73	40	10	368
10～14	22,322	874	782	70	22	5,396	53	4,121	1,074	74	74	386	89	53	70	71	103	50	80	57	21	2	287
15～19	35,006	749	629	76	44	7,614	68	6,158	1,160	99	129	492	76	70	45	83	218	42	131	96	27	8	1,331
20～24	102,793	2,477	1,929	447	101	13,504	96	11,464	1,495	186	263	2,361	456	120	106	541	1,138	148	603	444	135	24	5,939
25～29	115,077	2,133	1,378	597	158	15,713	135	13,196	1,820	250	312	3,020	458	119	180	785	1,478	276	825	580	223	22	6,666
30～34	110,232	1,633	1,102	344	187	14,952	154	11,857	2,343	223	375	2,245	368	143	194	628	912	274	563	398	140	25	5,924
35～39	100,507	1,480	1,058	249	173	13,616	162	10,334	2,527	241	352	1,481	355	163	190	253	520	201	333	246	76	11	4,365
40～44	79,136	1,414	1,083	186	145	11,705	151	8,936	2,109	191	318	1,064	277	147	130	146	364	111	236	175	50	11	3,275
45～49	56,542	1,179	957	117	105	8,662	121	6,685	1,498	145	213	795	195	101	115	82	302	80	160	113	35	12	2,323
50～54	43,064	993	842	88	63	6,306	86	5,083	963	62	112	716	153	95	121	58	289	38	100	76	20	4	2,379
55～59	33,377	753	647	72	34	4,031	43	3,325	578	32	53	514	106	71	80	40	217	21	77	58	18	1	2,643
60～64	24,800	469	416	42	11	2,041	24	1,689	291	11	26	321	49	49	50	37	136	8	36	26	6	4	1,964
65～69	18,978	300	263	30	7	816	10	668	122	6	10	197	40	49	18	22	68	4	16	10	4	2	1,727
70～74	13,852	391	366	19	6	335	5	247	71	3	9	128	25	20	9	14	60	4	12	8	3	1	1,495
75～79	10,201	324	306	17	1	144	1	93	45	3	2	107	21	19	8	6	53	3	13	11	2	–	1,243
80～84	7,599	180	164	15	1	64	–	47	14	2	1	58	8	12	7	2	29	1	6	6	–	–	798
85歳以上	5,581	123	114	9	–	38	1	24	10	–	3	55	9	5	6	1	34	–	5	4	1	–	629
（再掲）																							
65歳以上	56,211	1,318	1,213	90	15	1,397	17	1,079	262	14	25	545	103	105	48	45	244	12	52	39	10	3	5,892

出典：総務省統計局平成17年国勢調査外国人に関する特別集計（http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat　2010年1月4日参照）